

YODOKO REPORT

第119期 中間報告書

2017.4.1 — 9.30

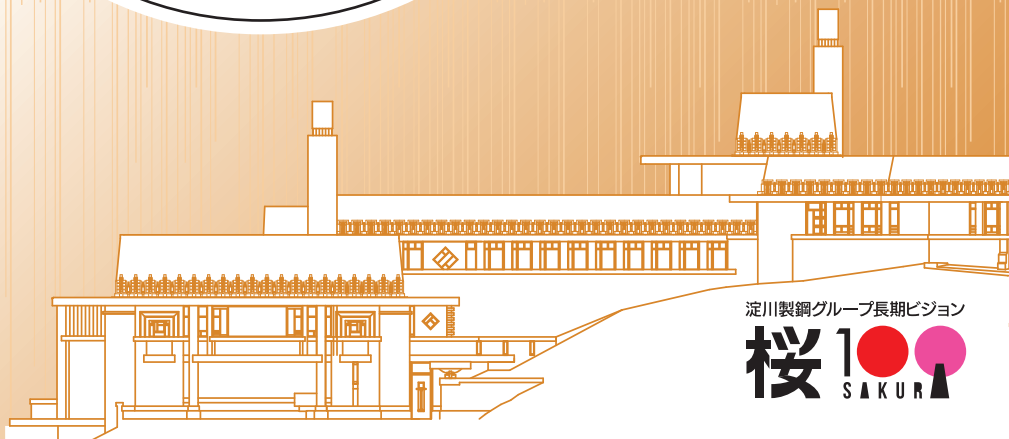
YODOGAWA STEEL WORKS

Steel sheet, Building material, Exterior, Roll, Grating

株式会社 **淀川製鋼所**

証券コード

5451



淀川製鋼グループ長期ビジョン

桜 100%
SAKURA



國保会長（左）と河本社長（右）

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第119期第2四半期累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の事業の内容につきましてご報告申し上げます。

2017年12月

代表取締役会長

國保 善次

代表取締役社長

河本 隆明



当社は2025年の創立90周年に向けて、更には100年企業への発展を見据えて、当社のシンボルマークである桜のように、新たな領域に挑戦する心と変化に順応する機動力を持って、持続的に成長します。

市場環境および経営成績

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の改善が続いているほか、堅調な雇用情勢を受けて個人消費も回復傾向にあるなど、緩やかな回復基調が継続しました。

世界経済は、米国では良好な雇用環境のなか個人消費や設備投資が緩やかに持ち直すなど好調を維持しており、欧州でも総じて景気は底堅い回復を示しました。中国では、政府の景気下支え策の効果や需給バランス改善に伴う企業収益の回復により、景気は概ね好調に推移しました。

鉄鋼業においては、日本国内市場では、自動車・産業機械などの需要産業で増産基調が継続し、普通鋼鋼材国内出荷量は前年同期を上回る水準で推移しました。

海外鉄鋼市場は、中国を起点に春先に一旦軟調に転じましたが、中国政府主導による地条鋼の排除や旺盛な中国国内需要に支えられ国際市場は反転、その後上昇基調が続いております。

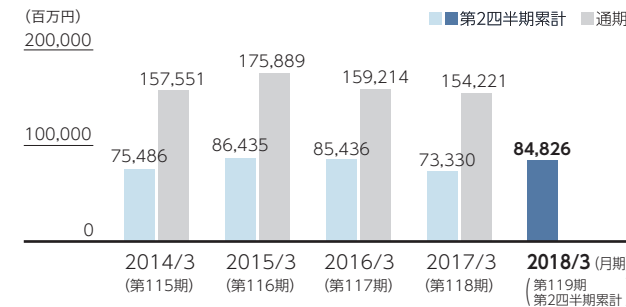
このような環境のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては鋼板商品の価格は正に取組んだことや、中国の子会社である淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司の改善などにより、増収となりました。なお、中間配当につきましては、1株当たり35円とさせていただきます。

今後の見通し

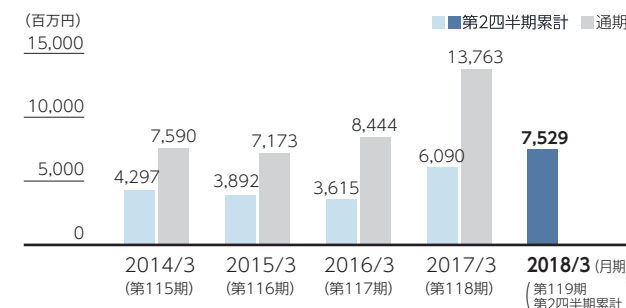
鉄鋼市場は、海外市場では中国の需要産業の生産は増加しており、好調な米国と欧州経済にも支えられ短期的には堅調に推移するものと思われます。日本国内市場でも鉱工業生産の回復や東京五輪関連の建設工事の本格化による鋼材消費の増加が期待されますが、当社グループにおいては、主原料である熱延鋼板や亜鉛ほか様々なコスト上昇要因により、損益面で厳しい環境に置かれるものと予想されます。

このような環境の中、当社グループとしましては、中期経営計画に基づき「ヨドHyperGLカラー」や「ヨドHyperパネルシリーズ」など戦略商品の拡販に取り組んでまいります。

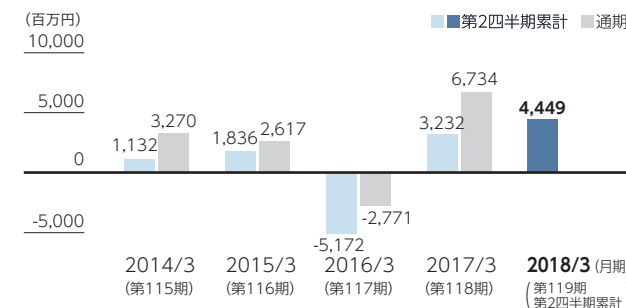
売上高(連結)



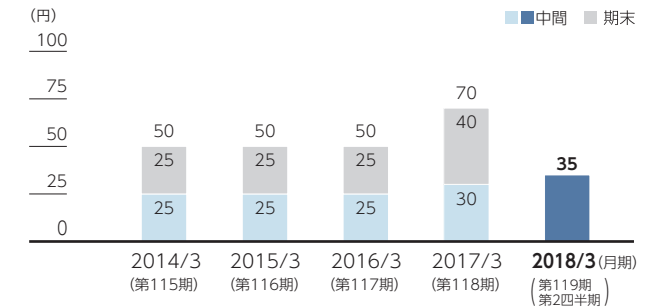
経常利益(連結)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(連結)

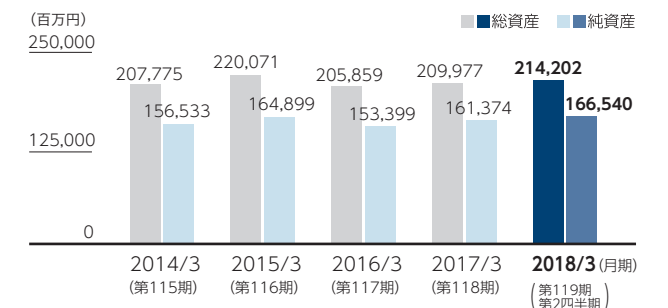


1株当たり配当金

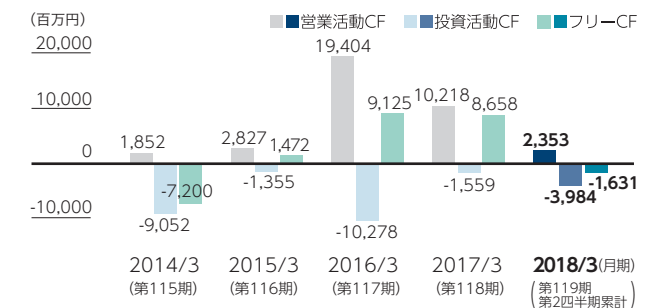


注 第117期以前は株式併合後の数値に調整して表示しております。

総資産・純資産(連結)



営業活動CF・投資活動CF・フリーCF(連結)



China

Taiwan

① YSS社 上海
② SYT社 杭州
③ YBMH社 合肥

④ SSCO社 高雄
⑤ SYSCO社 東莞

淀川製鋼グループの中国事業の取り組み

本年11月、中国におけるYSS社製家電向け鋼板の販売強化を目的に、上海佑都貿易有限公司(SYT社)を現地パートナーとの合併で設立しました。本特集では、当社グループの重要なマーケットである中国における事業展開についてご紹介します。

- 1 YSS社(淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司)**
 董事長：大森 豊実 総経理：二田 哲
 設立年月：2011年10月 従業員数：258名
 事業内容：鋼板製品の製造および販売
- 2 SYT社(上海佑都貿易有限公司)**
 董事長兼総経理：章 文華
 設立年月：2017年11月 従業員数：10名(予定)
 事業内容：家電向けめっき・カラー鋼板の販売
- 3 YBMH社(淀鋼建材(杭州)有限公司)**
 董事長：大森 眞 総経理：曾 俊鷹
 設立年月：2003年12月 従業員数：12名
 事業内容：建材商品の製造・販売
- 4 SSCO社(SHENG-SHING CORP.)**
 董事長：林 義輝
 設立年月：2007年1月 従業員数：43名
 事業内容：めっき鋼板の裁断、加工、販売
- 5 SYSCO社(盛餘股份有限公司)**

中国市場進出の経緯

当社グループの中国での事業展開は、1990年代後半に当社による日系家電メーカー向けめっき・カラー鋼板の輸出から始まりました。2000年代に入り、台湾のSYSCO社主導で建材商品の製造販売を事業とするYBMH社(2003年)、コイルセンターのSSCO社(2007年)を設立し、中国市場へ進出しました。その後、中国市場が著しい成長を見せる中、鋼板事業の中国における生産拠点として、2011年に当社とSYSCO社の共同出資による子会社、YSS社を安徽省合肥市に設立しました。また、2014年にはYBMH社を増資により当社の子会社とするなど、表面処理鋼板事業と建材事業のシナジー効果の発揮を目的に、事業基盤の整備を進めてきました。

中国事業の現状

建材分野では、YBMH社が先行して、金属建材(屋根・壁)市場で実績を積み重ね、現地の大手工事会社などとの関係構築にも一定の成果を上げています。一方YSS社は、設立後それほど年数を経っていないことから中国国内で知名度が不足しており、製品織込み営業などで、思うように実績を伸ばせない状況が続いていました。このような中、

YBMH社は2014年の増資を契機に、YSS社製の建材向け鋼板の拡販の使命も担うようになり、YSS社と協働で施主、ゼネコン等への訪問営業を強化するなどの活動に取り組んでいます。

家電向けでは、YSS社が生産を開始して4年が経過し、当社が中国現地向けに供給していた全ての日系家電向け鋼板は、YSS社の生産するめっき・カラー鋼板に切り替わり、移管は完了しました。一方で、YSS社にとっては、日系家電メーカー以外への販路開拓が今後の大きなテーマとなっています。

課題への取り組み

このような現状のなか、建材分野では、YSS社及びYBMH社の更なる知名度向上に向けて2016年度より中国建築防水協会に入会し、協賛企業として2017年度年会の合肥開催に携わりました。更にYBMH社がこれまで中国で積み重ねてきた施工実績等や、日系メーカーならではの高度な技術サポートを最大限活用し、両社が協働で工事会社などへの積極的な営業活動を開始しています。これらの取

組みの成果もあり、直近では北京新空港ターミナルの屋根用カラー鋼板を受注しました。
(仮称)北京新空港 完成予想図

家電向けでは、中国で家電メーカー向け鋼板事業の豊富な経験・ノウハウを有する新たなパートナーである上海録祥国際貿易有限公司と当社が、YSS社製鋼板の販売を目的に、合併会社SYT社を設立しました。今後、SYT社を通じて

既存の日系家電メーカー向けのシェアアップを図るとともに、日系家電メーカー以外への販路開拓に取り組んでいきます。またYSS社はSYT社と協働で原材料(原板、塗料)の調達先を開拓することで、コスト競争力を向上させ業績改善につなげていきます。さらにはSSCO社との協働も視野に入れるなど、中国市場におけるグループとしての連携強化を一層進めていく方針です。

代表者メッセージ



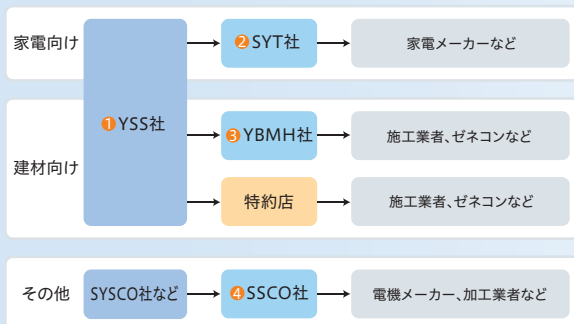
YSS社 総経理
二田 哲

YSS社は2011年10月に淀川製鋼グループの表面処理鋼板事業の中国拠点として設立され、2018年には8年目を迎えます。当社の業績は、当初計画に対し未達成の状況が続いていますが、これまでの営業活動の成果も現れ始めています。今後は、YBMH社およびSYT社との更なる協働によって、中国における建材向けおよび家電向け表面処理鋼板の拡販に取り組んでまいります。

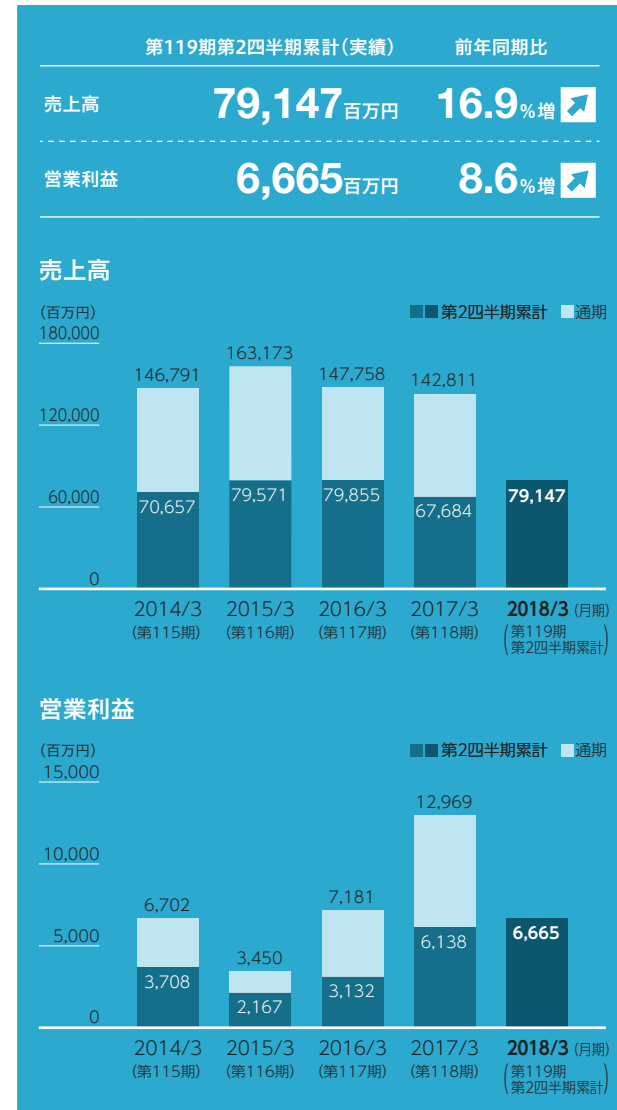
また、当社が中国で事業を行い存在する「意義」と「目的」を「企業使命：顧客信頼度No.1企業になる」と定め、この使命実現に必要な社内体制の再構築も進めております。

今後、これらの取り組みを通じて、淀川製鋼グループの中国主力拠点としての使命を果たしてまいります。

中国における各社の商流



鋼板関連事業



鋼板部門

当中間期の振り返り

- 日本国内のひも付き(特定需要家向け)は、建材向けめっき・カラー鋼板の販売量が増加。店売り(一般流通向け)は、非住宅関連需要が増加。価格は正にも取り組んだことから増収。
- 台湾SYSCO社は、台湾国内需要の停滞から販売量は減少したが、米国向け輸出は回復傾向。堅調なアジア市況を背景に販売価格が上昇し増収。
- タイPPT社は、原料価格上昇後、販売価格は正に時間を要し減益。
- 中国YSS社は、新規受注で販売量が増加。

通期の展望

- 需要は概ね堅調ながら、原材料などの価格上昇から損益環境は厳しいものと予想。さらなる販売価格是正に注力。
- 海外は、回復傾向にあったSYSCO社の米国向け輸出が、トランプ政権の保護主義的政策から再度減少を予想。中国はSYT社と協働でYSS社の軌道乗せに注力。

中期経営計画の実現に向けた取り組み

- 高付加価値製品の充実と、新分野・ニッチ分野への積極的アプローチ。
- 国内外グループ会社間での販売・調達・技術における協働・連携の推進。



YSS社



YSS社 製品展示スペース

建材・エクステリア部門

当中間期の振り返り

- 建材商品は、主力のルーフで価格競争が激しく、選別受注を余儀なくされ販売量減少。
- エクステリア商品は、個人消費の回復で物置が伸長、ガレージ等大型商品も事業者向けが増加。
- 工事は、ヨド耐火パネルグランウォールを中心とした物流倉庫などの大型案件を完工し増収。

通期の展望

- 建材商品は、ルーフの引き合い増。ヨド耐火パネルグランウォールは物流倉庫・工場に加えビル外装の引き合いも増加。
- エクステリア商品は、新CMを活用した販促で物置の拡販に注力。
- 工事は、空港施設・物流倉庫・工場などの大型案件が今期中に完工予定。

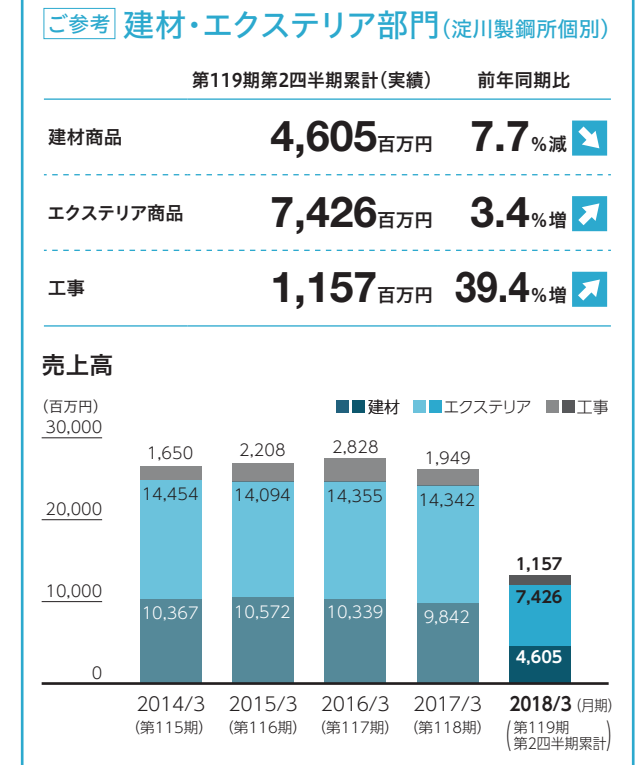
中期経営計画の実現に向けた取り組み

- 戦略商品である高機能外装パネル「ヨドHyperパネルシリーズ」の拡販。
- 鋼板・建材・工事のシナジー効果(高機能鋼板、成型加工技術、新工法・省施工など)の一層の追求。

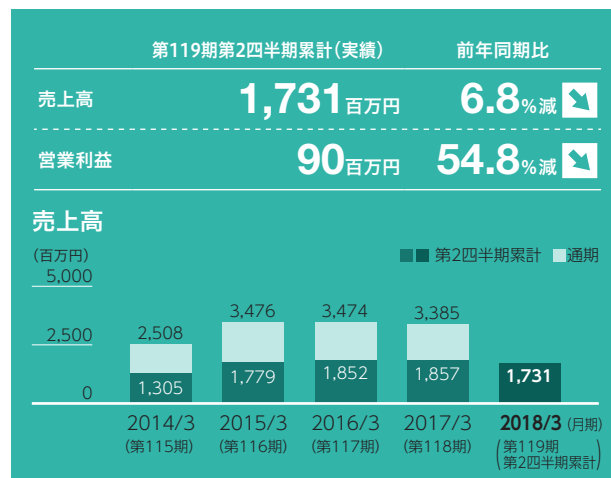


ヨド耐火パネルグランウォールを使用した施工事例
GLP吹田

ヨド倉庫採用事例



ロール事業



当中間期の振り返り

- 非鉄用は、製紙用ロールや設備の販売が好調ながら、主力の鉄鋼用ロールの販売が減少し減収。

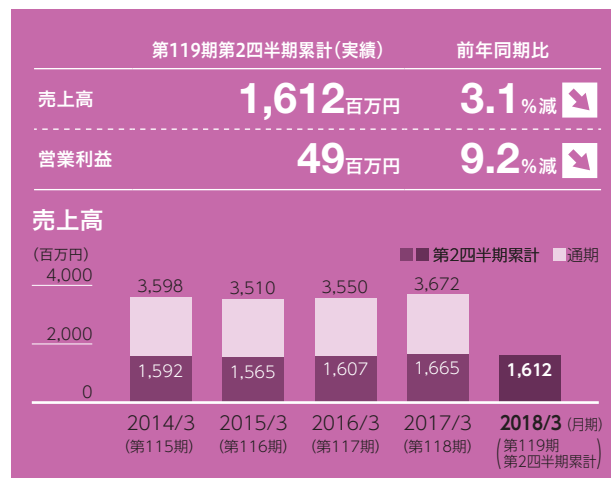
通期の展望

- 鉄鋼用は、薄板向けは堅調ながら厚板向けの発注が端境期で苦戦を予想。
- 非鉄用は、設備更新需要を確実に捕捉。

中期経営計画の実現に向けた取り組み

- 鉄鋼用は、高付加価値ロールの更なる拡販。
- 非鉄用は、これまで培ったロール製造技術を活かし、新規分野での需要を開拓。

グレーチング事業



当中間期の振り返り

- 主力の道路分野は、災害復旧事業優先となり通常の公共事業物件の減少により減収。
- 新たに取り組んでいる鉄道、エネルギー関連分野で受注。

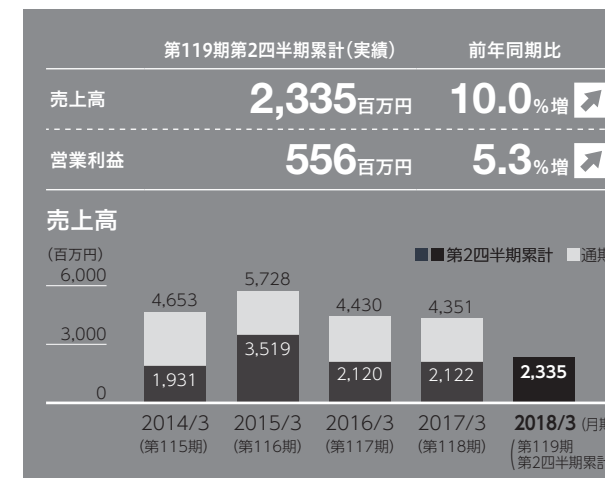
通期の展望

- 原材料価格高騰で厳しい環境が続くが、販売価格は是正と更なるコストダウンに努める。
- 高付加価値商品の設計織り込みを推進。

中期経営計画の実現に向けた取り組み

- 新たに取り組んでいる鉄道、エネルギーおよび建築関連分野への用途提案の推進。

不動産・その他事業



当中間期の振り返り

- 不動産事業は、賃貸ビルの稼働率が改善し増収。
- エンジニアリング業務は、海外プラント、技術契約、技術者派遣が売上に貢献したが、設備の検収時期が遅れ、減収。

通期の展望

- 不動産事業は、資産の有効活用を継続。
- エンジニアリング業務は、海外プラントや予備品関係の受注が好調。

中期経営計画の実現に向けた取り組み

- 不動産事業は、資産の積極的有效活用でグループの収益力向上に貢献。
- エンジニアリング業務は、海外顧客訪問など積極的な営業で鋼板加工設備を中心に需要を捕捉。

Topics 新商品「ヨドHyperパネルシリーズ」 2017年9月発売

金属製外壁パネルの主力商品である、「ヨド耐火パネル グランウォール」「ヨドファインパネル」「ヨド不燃パネルバリアロック」の表面鋼板の仕様を一新し、新たに高機能金属製外壁パネル「ヨドHyperパネルシリーズ」として発売いたしました。

採用した鋼板は、高耐久塗装鋼板として2017年1月に発売した、クロメートフリーカラー鋼板「ヨドHyperGLカラー」をベースに、優れた耐汚染性・遮熱性などを付与した専用鋼板です。

また、「ヨドHyperパネルシリーズ」は建築物の規模や要求性能などに応じた選択が可能で、カラーバリエーションも充実しています。



ヨドHyperパネルシリーズ

中国YSS社

商号：淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司
 設立：2011年10月28日
 資本金：2.2億米ドル
 事業内容：鋼板製品の製造および販売
 主要設備：めっき設備1基 カラー設備2基

所在地：中国 合肥市
 董事長：大森 豊実
 總經理：二田 哲
 従業員数：258名



当中間期の振り返り

- 中国の経済成長率は2016年後半で下げ止まり、2017年1～3月は前年比+6.9%と上昇、4～6月も同水準を維持した。
- 高収益の工事案件の受注に注力し、YBMH社と協働で北京新空港ターミナル・長春空港の屋根用鋼板等複数の案件を受注。

今後の取り組み

- 建材向けは中国国内での知名度のさらなる向上に取り組む。
- 家電向けは、新規設立した販売会社のSYT社と協働し、コスト競争力の強化や更なる品質の向上に取り組む、淀川製鋼グループの中国拠点として早期の軌道載せを目指す。

Topics 中国における合併会社(SYT社)設立に関するお知らせ

当社グループでは、中国における表面処理鋼板事業を担うYSS社の中国国内における家電製品向け表面処理鋼板の販売強化を目的とし、現地のパートナー上海稼祥国際貿易有限公司との共同出資でSYT社を設立することとなりました。9月8日には章文華董事長と同社の傘下企業蘇州稼祥新材料科技有限公司劉靖曦副總經理が来日し当社の本社ビルにて新会社設立のための調印式を行いました。



会社概要

社名：上海佑都貿易有限公司(略称 SYT社)
 Shanghai Yodoko Trading Co., Ltd.

所在地：中華人民共和国 上海市

代表者：董事長兼 總經理 章文華

董事：二田哲(淀川製鋼所取締役、YSS社總經理)
 劉靖曦(蘇州稼祥新材料科技有限公司副總經理)

監事：大隅康令(淀川製鋼所執行役員)

事業内容：家電製品向けめっき鋼板およびカラー鋼板の販売

資本金：20,000,000 人民幣

出資額(比率)：上海稼祥国際貿易有限公司 10,200,000人民幣(51%)
 株式会社淀川製鋼所 9,800,000人民幣(49%)

台湾SYSCO社

商号：盛餘股份有限公司
 設立：1973年5月19日
 資本金：32億1,180万元
 事業内容：鋼板製品の製造および販売
 主要設備：酸洗設備1基 冷延設備2基 めっき設備2基 カラー設備2基

所在地：台湾 高雄市
 董事長：大森 眞
 總經理：程 贊育
 従業員数：560名



当中間期の振り返り

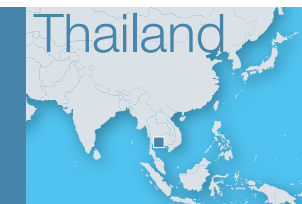
- 2017年度の台湾経済は、昨年から引き続き半導体業界を中心とした輸出および設備投資等に牽引され安定的な成長が続いている。
- 台湾国内の薄板需要が盛り上がり欠いたことから、販売シェアは維持しているものの販売数量が減少。
- 原材料価格が高止まりしていたことから厳しい損益環境にあるが、機動力を活かした受注と生産に努め、前年同期と同水準の利益を確保。

今後の取り組み

- 米国で追加発動が検討されている保護主義的措置への対応として、新規輸出市場の開拓に継続して注力。
- 強みである機動力を最大限に活かし、柔軟な製造販売体制による安定した利益を実現。

タイPPT社

商号：PCM PROCESSING(THAILAND) LTD. 所在地：タイ アマタナコン工業団地
 設立：1999年4月 代表者：神崎 昌平
 資本金：13億7,725万9千バーツ 従業員数：131名
 事業内容：塗装鋼板製造、鋼板加工および販売
 主要設備：連続塗装ライン1基 大型レベラーライン2基 シートスリッター1基



当中間期の振り返り

- 2017年度のタイ経済は、GDP成長率が3.5%増と予測され、緩やかな回復基調。昨年同様、輸出が経済成長に寄与するなか、観光業の急速な回復などに支えられ、景気見通しは改善。
- 原材料価格上昇の、販売価格への転嫁に時間を要し減益。

今後の取り組み

- 環境規制から家電メーカーが後塗装から前塗装の鋼板に切り替える動きがあり、需要の捕捉に取り組む。
- ASEANの経済成長とともに高品質化が進む、建材向け鋼板需要の捕捉にも注力する。
- 帯電防止鋼板、抗菌鋼板に加え、フッ素鋼板やステンレスカラー等の高付加価値品を投入し、用途開発に取り組む。

会社の概要 (2017年9月30日現在)

会社の概要

| | |
|------|-----------------|
| 社名 | 株式会社淀川製鋼所 |
| 設立 | 1935年1月30日 |
| 資本金 | 23,220,815,228円 |
| 従業員数 | 1,212名 |

当社の主な事業所及び工場

| | |
|--------|--|
| 本社 | 〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号 06-6245-1111 |
| 支社 | 〒104-0041 東京都中央区新富一丁目3番7号 03-3551-1171 |
| 営業所 | 札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎、東京統括、 横浜、静岡、北陸、名古屋統括、大阪統括、神戸、岡山、 広島、高松統括、高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄 |
| 工場・事業所 | 大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県)、 福井(福井県)、泉大津(大阪府)、姫路(兵庫県) |

当社の主な関係会社

連結子会社

| | |
|-------------------------------|------------------|
| 高田鋼材工業株式会社 | 鋼板の加工および販売、倉庫業 |
| 盛餘股份有限公司 | 鉄鋼製品の製造および販売 |
| 淀鋼商事株式会社 | 鉄鋼卸業、運送業 |
| 京葉鐵鋼埠頭株式会社 | 倉庫業 |
| ヨドコウ興発株式会社 | ゴルフ場等経営および不動産賃貸 |
| 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 | 鉄鋼製品の製造および販売 |
| PCM PROCESSING(THAILAND) LTD. | カラー鋼板の製造、加工および販売 |

持分法適用関連会社

| | |
|---------|------|
| 株式会社佐渡島 | 鉄鋼卸業 |
|---------|------|

スチール! & アイデア!
ヨドコウ

<http://www.yodoko.co.jp/>



当社の役員

| 取締役 | 執行役員 |
|-----------|-------|
| 代表取締役会長 | 國保善次 |
| 代表取締役社長 | 河本隆明 |
| 取締役専務執行役員 | 大森豊実 |
| 取締役常務執行役員 | 二田哲一 |
| 取締役 | 佐伯壽一 |
| 取締役 | 岡村裕 |
| 常務執行役員 | 大森眞 |
| 上席執行役員 | 渡辺隆昌 |
| 上席執行役員 | 服部格 |
| 上席執行役員 | 中野要一郎 |
| 上席執行役員 | 河本善博 |
| 上席執行役員 | 隈元稔夫 |
| 執行役員 | 葛生信介 |
| 執行役員 | 大隅康令 |

※ 佐伯壽一および岡村裕の両氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

| | |
|---------|------|
| 監査役(常勤) | 林眞生 |
| 監査役(常勤) | 森岡司郎 |
| 監査役 | 宇津呂修 |
| 監査役 | 岩田知孝 |

※ 宇津呂修および岩田知孝の両氏は会社法に定める社外監査役です。

株主メモ

| | |
|-----------------------|--|
| 決算日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | みずほ信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 公告方法 | 電子公告 当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/ |

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部